



## 停止するはずのエレベーターが・・・？ 西日本防災システム

2015 05 11

今年3月に発生した東京都千代田区の25階建て高層住宅火災で、火災発生時に停止するはずの一般エレベーターが停止せず、住民の3割以上が避難に使用していたことがわかったそうです。ん？？制御装置の故障が原因で、東京消防庁は、最悪の場合、住民がエレベーターに閉じ込められてしまう恐れがあったとして、当時の避難状況を詳しく調べているそうです。火災が発生したのは3月2日の朝で、千代田区西神田の25階建て区営住宅の20階の一室から出火し、住民3人が負傷、380人以上が避難する火災でした。警視庁は3月30日、自室に火をつけたとして、住民の29歳の男性を現住建造物等放火容疑で逮捕しています。建築基準法では31メートルを超える建築物(11階以上)に非常用エレベーターの設置を義務付けていて、今回問題となっているこの建物にも非常用1基と一般乗用3基が設置されていました。非常用は防火性が高く、火災時にも止まらず、非常電源を備えて消防隊の消火活動などに利用されるものです。この建物の一般乗用の設定は「火災時管制運転装置」が導入されており、火災報知機に連動して1階に移動し、その後は停止する設定となっていたそうです。ですが、今回の火災で停止した一般乗用は1基だけで、残る2基は火災報知機が作動した後も動き続けたようです。同館の自治会が火災後に行ったアンケート調査によると、回答した住民64人のうち3割を超える22人が避難に一般エレベーターを利用し、19階以上の高層階の住民については、4割以上がエレベーターを使って避難したようです。 避難する際何事もなく良かったですね！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ

